

令和5年度 第2回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和5年6月26日(月) 13時45分から15時35分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 稲田 定彦、栗田 孝代、平尾 賢弘、田光 美智代
富田 真悟、岩本 晃輔、佐藤 真
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 中根 その美
- 5 オブザーバー 村田 弘貴(長上協働センター主事)
- 6 学校 河合 勝之(校長)、古橋 拓実(教頭)、磯部 真代(CS担当)
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 清水 悠(教育総務課)
- 8 傍聴者 1名
- 9 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、稲田会長から富田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを了承した。

11 協議事項

- (1) 学校教育活動への地域支援について
 - ・ 学校からの地域支援についての要望
 - ・ 現在の進捗状況について
- (2) 防災について

12 会議記録

司会の古橋教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校教育活動への地域支援について

議長の指示により、教務主任から、資料の8、9ページを基に学校からの地域支援についての要望の説明があった。2年生の町たんけんは既に行われた。

続いて議長の指示により、学校支援コーディネーターの石田委員から、現在の進捗状況について以下のように報告と説明があった。

- ・ 学びのマップを基に先生方に確認し進めている。2年生は「野菜を育てよう」「町た

んけん」「ソフトボール投げ」。5年生は家庭科。6年生は今までのドリームマップの代わりになる他の活動を考えていきたいと考えている、とのこと。

- ・2年生の「町たんけん」は6月に行った。
事前に小池神社と三浦神社にトイレがあるか、使えるかを確認してほしいということで、現地で確認し、先生と自治会長さんで打合せをしてもらった。
6月15日に三浦神社に行った。出発前に先生から子供たちに説明があり、「自分の身を守ること」や「途中で記録を書かないこと、神社に着いてから書くこと」「1列で歩くこと」などが伝えられた。安全対策が徹底されていて、子供たちも安全確認がしっかりでき、先生の注意を守ることができた。下準備が大事だと思った。
6月23日に小池神社に行き、こちらは稲田会長と栗田委員に行ってもらった。(以上石田委員)
- ・小池神社は2回目で慣れがあった。途中、信号があり、集団を動かすのは大変だった。ボランティアがいれば先生方も余裕が少しできるだろうから、ボランティアがいると良いと思った。(栗田委員)
- ・歩行者を渡らせるための車を止めるタイミングの講習を受けたい。(石田委員)
- ・車の人たちが親切で道を譲ってくれた。事前に先生と打合せができると安心。(栗田委員)
- ・道路の渡らせ方を前もって打合せができると気が楽になる。引率など補助ボランティアを募集すると良い。(石田委員)
- ・5年生の家庭科では、長上地区特産の農作物を教えて欲しい。実物があると尚良いということだった。また、調理実習で味噌汁を作るため、自分で育てている大豆で手作りの味噌を作っている人がいないか、ということで、先日みなさんに連絡した。(石田委員)
- ・手縫いのボランティアは先生が学年だよりで募集をし、1名の応募があった。裏面でわかりにくかったようなので、次回はわかりやすくする。ミシンのボランティアも学年だよりで募集する。応募は少ないと予想されるので、担任の先生でボランティアの対応は可能とのことだった。(石田委員)
- ・2年生のソフトボール投げは、昨年度は小池ビーバーズにお任せしたが、ボール拾いが大変だったので、今年度は先生主導で小池ビーバーズにピンポイントで教えてもらう方法が良いと思う。また、事前に打ち合わせができるボランティアが入り、自分の代わりに当日動ける人に入ってもらいたい。(石田委員)
- ・ボランティアが多く来すぎても大変だと思う。(稲田会長)
- ・当日の体制ができていれば良いが、ボランティアの対応を運営委員がするのか学校がするのか、自分以外で当日まとめられるボランティアがいてほしい。運営委員も仕事や家庭の事情があると思うので、みんなでうまく調整しながらやっていきたい。(石田委員)

- ・すぐに体制を作るのは難しいが、みんなで協力して1つ1つクリアしながらやっていたら良い。(栗田委員)
- ・やってみないとわからない問題点や改善点があると思う。(富田委員)
- ・環境整備は授業ではないのでボランティアを募集できる。学年だよりやさくら連絡網で募集をかけられる。しばらく協働センターが使えなくなるので、花壇の整備をしている花の会など、地元で活動している方々に声をかけるのも良いと思う。PTAとも協力したい。当日集まったボランティアの対応を誰が担当するか。(石田委員)
- ・委員の中でできる人がやるのはどうか。委員が学校の補助として先生から話を聞いてボランティアに伝えるというやり方はどうか。(稲田会長)
- ・平日いつでも動ける人はいないと思う。(石田委員)
- ・どうかたちが良いかみんなで考えていけば良い。(稲田会長)
- ・協働センターを借りれば、土日でも夜でもいいので集まりやすい。(石田委員)
- ・6年生から9月に地元の偉人の話、戦争の話を聞きたいという要望があるので、6月から7月に先生に内容を確認し、その後人選の相談をさせてほしい。(石田委員)

(2) 防災について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき防災について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・避難所になる学校はどこで決めているのか(石田委員)
- ⇒区で決めている。台風被害と地震被害でパターンが決まっている。(オブザーバー)
- ・学校周辺の浸水マップがあると良い。保護者が車で迎えに来る場合も子供が1人で帰る場合も、浸水しているところがわかると安全。(石田委員)
 - ・いつも浸水するところのマップはできるが、雨量や季節で状況が変わるため、詳しいマップを作るのは難しい。子供が在学している家庭はさくら連絡網があるから良いが、在学していない家庭は連絡手段がないため、以前のように地域の放送が使用できれば連絡ができる。(稲田会長)

議長より以上で熟議終了の通告があった。

13 その他、連絡事項等

CS担当の磯部教諭より、別紙資料に基づき、浜松市教育センターの「地域とともにある学校づくり研修」の発表資料「つながる学校」の報告があった。また、令和5年度与進中学校区3校1園合同研修会が8月7日に行われ、午後の部で本校「ひだまり」にて与北カフェを開催する旨の報告があった。

教頭より、次回会議は11月20日(月)13時45分からひだまりで開催する旨の報告があった。